

第10回

# 包装材料セミナー

## —包装の高機能化による品質保持について—

日時：平成27年1月30日(金)  
 会場：日本教育会館 第二会議室  
 主催：公益社団法人日本包装技術協会

ご参加の  
お勧め

近年包装材料には、多様化する消費者ニーズから、高機能化・高付加価値化・コスト競争力が求められ、単に内容物の保護だけでなく、加工性から使い勝手、廃棄性等総合的な性能が必要とされています。こうした状況に対応すべく、当会では、日々進化する包装材料の最新動向と今後の展開、業界情報等をご紹介します「包装材料セミナー」を開催しております。第10回目の今回は、バリア包材の話題を中心に、食品劣化のメカニズム、品質保持技術の説明から、素材別バリア包材の最新事例をご紹介します。どうぞこの機会に関係各位奮ってご参加下さいませようご案内申し上げます。

プログラム

時間	講演内容	講師
10:00 ▼ 11:00	<p>◆『食品の品質劣化の要因と包装による品質保持』</p> <p>食品の品質劣化の要因には細菌やかび・酵母のような微生物が関与するもの(生物的要因)、食品原料に含まれている酵素などが関与するもの(生化学的要因)、光や温度などが関与するもの(化学的要因)、水分の蒸発や吸着、香り成分の揮散などが関与するもの(物理的要因)がありますが、食品によって原料や製法が異なるために品質の劣化は一概ではありません。このため、食品が有する特徴をよく理解して対策を講じる必要があります。食品包装は内容物が劣化することを防ぐ重要な機能を担っており、適切な包材を選択することにより品質保持効果を発揮させることが可能です。特に酸素や光、水蒸気の透過を遮断することができるバリア包材を用いると化学的・物理的な劣化を防止できることが多く、さらに各種の殺菌技法や温度制御、ガス置換包装技法などと組み合わせることにより大幅に劣化を遅らせることができます。本講演ではさまざまな食品の劣化要因について事例を中心にご紹介し、包装(特にバリア包材)による品質保持効果を基礎的な部分を含めて説明します。</p>	<p>あいち産業科学技術総合センター                  食品工業技術センター                  保蔵包装技術室 主任研究員  <b>鳥居 貴佳 氏</b></p> <p>コーディネーター                  ユニチカ(株)                  フィルムカスタマーソリューション部                  技術サービスグループグループ長                  鶴崎 義之 氏                  雪印メグミルク(株)                  ミルクサイエンス研究所                  食品加工研究室 主幹                  松野 一郎 氏</p>
11:10 ▼ 12:10	<p>◆『紙製バリア包材の開発～紙素材の高機能化を目指して～』</p> <p>社会情勢や消費者の関心の変化とともに、包装に求められる機能も変化してきている。これまでに素材開発や技術革新など、様々な工夫により包装の高機能化が達成されてきた。'紙'は「環境にやさしい素材」であるが、単体では機能が乏しいため、パッケージで使用される用途が限定されている。従って、より広い用途で素材選択のバリエーションを増やすためには、'紙'の高機能化が重要である。そこで紙素材を高機能化する手段の一つとして、「紙製バリア包材」の開発に取り組んだ。本講演では、開発品の特徴や展開可能性について紹介する。</p>	<p>日本製紙株式会社                  研究開発本部 総合研究所                  主任研究員  <b>野田 貴治 氏</b></p> <p>コーディネーター                  (株)クラレ エパール事業部                  グローバルマーケティンググループ 主管                  村田 知規 氏                  凸版印刷(株) 生活環境事業本部                  生活環境事業部PBIO 商品開発部 課長代理                  栄 賢治 氏</p>
12:10▶13:00	◆昼食休憩・講師への質問用紙回収	
13:00▶13:30	◆講師への質問会	講師+コーディネーター
13:40 ▼ 14:40	<p>◆『バリアフィルムの最新動向と「GLファミリー」展開について』</p> <p>透明バリアフィルムは包装資材の技術的発展と共に、飛躍的な進歩を遂げている。また、従来の包装用途の域に留まらず、ガラス代替など産業資材用途向けの開発も近年目覚ましい。本講演では、バリアフィルムの動向について説明するとともに、凸版印刷(株)が開発した透明バリアフィルム「GLファミリー」の展開状況について紹介する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 透明バリアフィルムについて</li> <li>2. 透明バリアフィルムを取り巻く市場動向について</li> <li>3. 透明バリアフィルム「GLファミリー」のご紹介                         <ul style="list-style-type: none"> <li>(1)透明蒸着フィルム「GLフィルム」について</li> <li>(2)新シリーズ「PRIME BARRIER」「FRESH LIGHT」について</li> </ul> </li> </ol>	<p>凸版印刷株式会社                  マテリアルソリューション事業本部                  バリアフィルムセンター                  事業企画本部 開発販促部                  販促チーム 部長  <b>山本 俊巳 氏</b></p> <p>コーディネーター                  (株)J-オイルミルズ 資材部部長                  日高 和弘 氏                  (株)ロッテ 中央研究所                  包装研究室 主査                  小垣 美津子 氏</p>
14:50 ▼ 15:50	<p>◆『乾燥条件下に適用可能な脱酸素容器「OxyVanish-D」について』</p> <p>微生物やカビの発育や内容物の酸化を防ぎ、保存性を向上させるため、脱酸素剤を使用した脱酸素包装が広く知られている。従来の脱酸素包装の多くは小袋やキャニスター型の脱酸素剤を使用しているが、投入スペースがない場合に適用が困難なアイテムや、異物感が嫌われるケースなどがあつた。また一方で従来の鉄系脱酸素剤や鉄系脱酸素樹脂では、酸素吸収に水分が必要であり、固形製剤やサプリメントおよび乾燥食品に十分適用できないケースがあつた。これらのケースに対応する為、弊社では新たに世界初となる水分が無くても酸素と反応する特殊鉄粉を開発し、またこの特殊鉄粉を樹脂に練り込むことで、水分を必要としない脱酸素樹脂を開発した。本講演では、この脱酸素樹脂を利用した乾燥条件下でも脱酸素可能なボトル容器「OxyVanish-D」を紹介する。</p>	<p>三菱ガス化学株式会社                  特殊機能材カンパニー                  研究開発センター 研究員  <b>増田 章宏 氏</b></p> <p>コーディネーター                  アサヒ飲料(株) 技術研究所 所長                  三谷 正幸 氏                  東洋製罐(株) テクニカル本部                  プラスチック技術部                  加工技術グループ 主任部員                  山口 裕司 氏</p>
15:50▶16:10	◆休憩・講師への質問用紙回収	
16:10▶16:40	◆講師への質問会	講師+コーディネーター

## 講師のご紹介

### 鳥居 貴佳氏

あいち産業科学技術総合センター 食品工業技術センター  
 保蔵包装技術室 主任研究員

【ご略歴】  
 1999年 愛知県食品工業技術センター 発酵技術部に所属  
 発酵食品、微生物の制御・利用技術、食品機能性の研究に従事  
 2005年 愛知県産業技術研究所 食品工業技術センター  
 応用技術室に所属  
 工場衛生管理、食品包装関連の業務に従事  
 2011年 あいち産業科学技術総合センター 食品工業技術センター  
 保蔵包装技術室に所属  
 異物分析、未利用資源・農産物の有効利用、包装関連の業務に従事

### 野田 貴治氏

日本製紙株式会社 研究開発本部  
 総合研究所 主任研究員

【ご略歴】  
 2004年 日本製紙株式会社 入社  
 技術研究所(当時)に配属  
 原材料の製造技術の開発、その後包装用の紙素材の開発を担当  
 現在に至る

### 山本 俊巳氏

凸版印刷株式会社 マテリアルソリューション事業本部  
 パリアフィルムセンター 事業企画本部 開発販促部 販促チーム 部長

【ご略歴】  
 1982年 凸版印刷 包材事業本部入社  
 包材関連営業を12年担当  
 1996年 販促部に異動 GLフィルムをメインに包材全般担当  
 2013年 パリアフィルムセンター立ち上げに伴い、パリアフィルム専任

### 増田 章宏氏

三菱ガス化学株式会社 特殊機能材カンパニー  
 研究開発センター 研究員

【ご略歴】  
 2007.3 東北大学大学院 工学研究科 卒業  
 2007.4 三菱ガス化学株式会社 入社  
 東京開発センター 脱酸素事業部へ配属  
 電子材料・医薬向け脱酸素剤の開発  
 2009.7 平塚研究所にて脱酸素樹脂の開発  
 2011.1 東京テクノパークにて脱酸素樹脂・成形品の開発  
 現在に至る

## 開催要領

日時:平成27年1月30日(金)

会場:「日本教育会館 第二会議室」

東京都千代田区一ツ橋2-6-2 TEL. 03-3230-2833

参加費:会員18,360円(消費税8%、テキスト代含む)

\*同時に3名以上でお申込みの場合には

割引価格として1名15,120円

一般27,000円(消費税8%、テキスト代含む)

定員:100名

## 会場案内図

### 日本教育会館 第二会議室

東京都千代田区一ツ橋2-6-2 TEL. 03-3230-2833

### 最寄駅のご案内

- 地下鉄都営新宿線・東京メトロ半蔵門線神保町駅(A1出口)下車徒歩3分
- 地下鉄都営三田線神保町駅(A1出口)下車徒歩5分
- 東京メトロ東西線竹橋駅(北の丸公園側出口)下車徒歩5分
- 東京メトロ東西線九段下駅(6番出口)下車徒歩7分
- JR総武線水道橋駅(西口出口)下車徒歩15分

## お申し込み方法

■本紙申込書に必要事項を全てご記入の上、FAXにてお申込み下さい。

協会HPからのお申込みも出来ます。

協会HP:<http://www.jpi.or.jp>

■申込みされた方には、後日参加証と請求書をお送りします。

■開催1週間前からの参加費の払い戻しは致しません。申込みされた方がご都合の悪い場合、代理の方の出席は差し支えありません。

(当日、名刺をご提出いただきます。)

## お問い合わせ並びにお申込み先

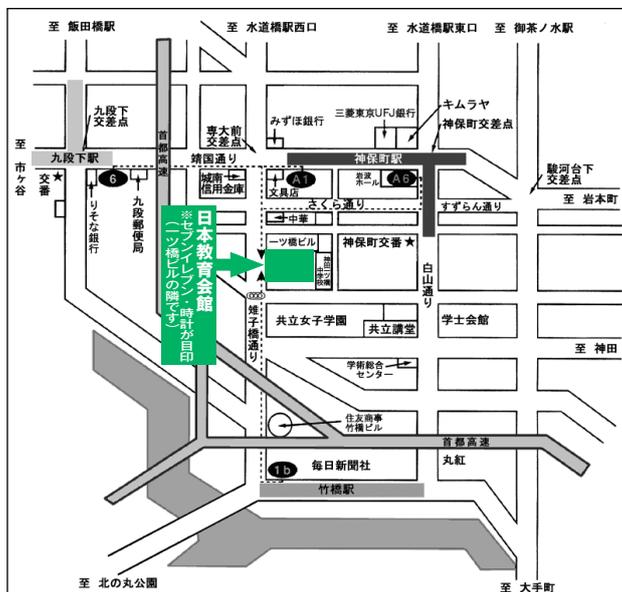
公益社団法人日本包装技術協会 包装材料セミナー係

担当:竹内

〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10F

TEL.03(3543)1189 FAX.03(3543)8970

e-mail:takeuchi@jpi.or.jp



### 【個人情報の取り扱いについて】

1. 個人情報は「第10回包装材料セミナー」の事業実施に関する資料等の作成、並びに当会が主催・実施する各事業におけるサービスの提供や事業のご案内のために利用させていただきます。なお、作成資料は開催当日、関係者に限り配布する場合があります。
2. 参加申込みによりご提供いただいた個人情報は、法令に基づく場合などを除き、個人情報を第三者に開示・提供することはありません。

## 第10回包装材料セミナー(1月30日開催)参加申込書

公益社団法人日本包装技術協会 竹内 行 FAX.03(3543)8970 No.

会社名					
所在地	(〒 )				
電話			FAX		
参加者名	氏名	所属役職		e-mail	
	氏名	所属役職		e-mail	
	氏名	所属役職		e-mail	